

高頻度軌道検測データに対応した 軌道保守計画支援システム

Decision Support System for Railway Track Maintenance
Strategy Corresponding to High-frequency Measured Data

【概要】

近年では、軌道検測装置の営業車への搭載が進み、線区によっては、検測データを従来より高頻度取得できるようになりつつあります。そこで、高頻度検測データを用いて軌道状態の将来推移を予測し、マルチ(MTT)の運用計画を含む軌道変位保守計画を策定するシステムを開発しました。

【特徴】

- 従来の計画システムに対して、以下の機能等が新たに増えました。
- 1日に複数回検測したデータを読み込み、各日の代表データを作成します
- 軌道変位の予測に用いるパラメータをロットごとに算出します。これにより、予測精度が向上し、高い品質の保守計画を策定できます
- 軌道変位の予測誤差をロットごとに算出するため、予測値の信頼性が低い箇所を把握できます
- 多頻度軌道変位保守箇所、軌道変位の季節変動箇所、軌道変位進みの傾向変化箇所を把握できます
- 道床状態を評価でき、結果を道床交換計画の策定に活用できます

システムの操作画面

軌道狂い保守計画プログラム

計画条件1

計画期間開始	年(西暦)	月
計画期間	ヶ月	
ブロック構成	ロット/ブロック	
保守延長期間	期	
予測値ファイル名		
予測値ファイルの更新	なし	<input type="checkbox"/> あり

計画条件2

計画の評価基準	<input type="checkbox"/> 軌道状態優良	<input type="checkbox"/> 保守量最小化	
1日の保守可能ブロック	<input type="checkbox"/> 基地別	<input type="checkbox"/> 基地・線区・線別	
考慮する軌道狂い	<input type="checkbox"/> 高低狂い	<input type="checkbox"/> 通り狂い	<input type="checkbox"/> 加算和
重み(高低:通り)	0.5 : 0.5		
配備基地のジャンプ	なし	<input type="checkbox"/> あり	
列車動径の考慮	なし	<input type="checkbox"/> あり	
TT保守計画の出力	なし	<input type="checkbox"/> あり	

処理ボタン

読み込み

準備計算

保守対象箇所選定

計画作成

結果EXPORT

計画条件データ作成

軌道狂い急差評価

軌道狂い推移予測

パッケージ設定

パッケージ保存

パッケージ情報

パッケージ名

保存先

